平成22年度 今金町行政執行方針 要約



町政運営の基本的な考え方と平成22年度の主要な施策について申し上げます。

■総務関係

宅地分譲地として造成しておりました寒昇地区については、造成工事及び区画整備も完了し、団地名を「あったか団地」として関係条例の規定に基づき、4月より購入希望者へ26区画の売却を開始する予定であります。

予算編成については、国の予算編成方針を勘案し、住民生活の安心と安全を守るとともに地域経済を支え、地域の活力を回復させていくことと合わせて、財政の健全化にも繋がることを念頭に置いて行い、総額80億8、802万9千円となったところです。

■まちづくり推進関係

第5次今金町総合計画については、先日第1回策定審議会を開催したところであり、関係の皆様のご協力を頂きながら、取り進めに万全を期し、今後本格的な策定事務に取り組んでまいります。第5次今金町行政改革大綱については、特に施策や事務事業の評価手法について総合計画との関連性や外部視点の導入を考慮した検討を進めます。本年度は国勢調査の実施年であり、事務に遺漏の無いよう万全を期して取り組みます。

■保健福祉関係

高齢者共同生活施設「せせらぎ」については、指定管理者制度の導入により管理運営体制の見直しを図り、サービスの向上に努めます。給食サービス事業は、直営から今金福祉会に業務委託することで協議が整い、高齢者世帯等の食生活改善と栄養管理・健康保持に資するよう努めます。健康づくり推進について、食育基本法に基づき、食生活の面から健全な心身を育むため、食育推進基本計画の策定を進めます。母子保健活動について、5歳児検診を実施し、就学前の子育て支援を充実します。成人保健活動は、これまで保健センターにて実施されていた年2回の集団検診のほか、地域巡回型のがん検診・特定検診を実施し、より検診を受けやすい体制づくりに努めます。

■産業関係

平成22年度米の需要量については、昨年同様市町村ランク5中1ランクで、配分数量6、609トン。面積換算で1330ヘクタールの配分を受けたところですが、農家の積極的な取組みと稲作農家相互のランク向上に係る意識改革に期待します。国営農地再編整備事業については、事業計画策定年を迎えることから、農家が抱える営農に係る諸課題を順次整理し、今金農業の目指す姿を関係機関と協調し進めます。

■公共土木事業

新政権において「コンクリートから人へ」の考えのもと無駄を徹底的に削り、社会資本整備のあり方を根本的に見直すこととしております。町民の利便性・安全の確保に向けて取り組むため、計画した事業については、交付金等の財源の確保を最優先に努めます。

■国民健康保険特別会計

医療費の増加傾向と被保険者の所得低下が懸念され、事業運営は厳しさを増している状況にありますが、病気の早期発見、早期治療、特定健康診査・指導による予防対策の強化に努め、住民の健康に対する意識啓発と医療費に対するご理解をいただき、国保制度の安定運営に努めます。

■後期高齢者医療特別会計

平成22年2月に平成22年度及び23年度の北海道における保険料率が決定され、均等割額が44、192円、所得割率が10.28%となったところであり、確定賦課をもって補正することとし、今後においても被保険者の皆さまのご理解をいただき、安定運営に努めます。

■介護保険特別会計

第4期事業計画の2年次を迎え、介護予防の推進、認知症ケアの推進、地域ケア体制の整備について重点的に取り組み、超高齢化社会を見据えながら個別支援はもとより自治会・町内会単位での取り組みに対する支援を図ります。

■介護老人保健施設

認知症ケアの充実や在宅における受け入れ体制支援などの取り組み、在宅生活の継続を支える環境づくりに関係機関等とも連携を図りながら努めるとともに、効率的な施設運営を心がけます。

■国保病院

経営の効率化を図りながら持続可能な病院経営を目指し、良質な医療提供はもとより、安定的な経営のためには医療スタッフの確保が不可欠であることから、引き続き人材の確保に向けて最大限努力するとともに、今金町国保病院改革プランを計画的に推進し、町民が安心して生活できるよう、救急体制を確保しつつ医療体制の充実に努めます。

■簡易水道事業

良質な飲料水の供給は本事業の根幹であり、住民が健康で快適な生活を営む上での源でありますので、日常の維持管理を徹底し、更なるサービスと質の向上に努めます。

■公共下水道事業

今金浄化センターMICS処理施設は、4月より供用開始の運びとなりました。し尿処理業務を今金町が主体で実施することとなり、安全・安心で快適な生活を営む一翼を担う施設としての機能を果たし、従来からの下水道処理を含め適切な維持管理に努めます。

個性を最大限に発揮しながら地方自治の可能性を開いていかなければならない時代において、自治体としての自治能力が大きく問われる今こそ、町民の皆様とともに力を合わせてより良い今金町をつくることが協働のまちづくりの原点であり、町民一人ひとりがまちに誇りと自信を持って将来に向かって歩むことができれば、素晴らしい今金町になると確信しております。

諸施策の実現にむけ全力を傾注してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、平成22年度今金町行政執行方針と致します。